

中3の通塾率67%にアップ

——「過熱している」が親6割、塾も3割以上——

●文部省の平成5年度「学習塾等に関する

実態調査」速報（抄）

文部省は七月二十九日、平成五年度に実施した「学習塾に関する実態調査」の結果（速報）を発表した。調査の主眼である学習塾についてみると、通塾率は小学生三三・六％、中学生五九・五％、全体では三六・四％で昭和六十年度の前回調査と比べ各七・一ポイント、一五ポイント、一〇・一ポイントの急上昇。最高の中三は六七・一％と一九・八ポイントも上がり、七割近くにまで達した。「脱偏差値」が叫ばれるのをよそに、学習塾では進学準備中心の指導が増加しているとの結果が出ており、塾の社会的存在度が一段と増した形で、今や一

兆円産業に発展したと推定される。このよ
うな状況をめぐり、親の六割強、塾経営者
でも三人に一人が「過熱していると思う」
と回答している。しかし、その一方では、
塾通いの効果を認める声が多く、学校に欠
けがちな個別指導への期待も示しており、
一律に論じられない問題であることをうか
がわせた。また、けいこことは小・中学生
の全体で五九・六％とさらに四・一ポイン
トアップして、学習塾を依然大きく上回っ
ているほか、今回初めて通信添削が一・
七％を占めていることが分かった。

十月初旬から新潟日報・BSNが
共同企画——にいがた教育事情
第一部「塾、小さな戦士たち」と題
して紙面と映像で『塾』の問題を考
えることを県民に訴えている。

「学校だけでは（小六の中学受験
塾の紹介）」『脱受験競争（佐渡にで
きた全国初の行政主導型の体験留学
学園の紹介）」等の記事は一見に値
する。

新潟県の通塾率はこの七年間で約
一六ポイント上がり、二六・一％と
なった。文部省にあげた県のデータ
ーを得ようとしたができなかった。
文部省がまとめた全国のデーター
の表とそのコメントの要約を試みた。
詳細は九四年八月二日付の「内外教
育」を見ていただきたい。

〈表1〉 都道府県別にみた学習者の比率

単位：%

区分	学習塾	家庭教師	けいこごと	通信添削
北海道	27.2(17.0)	3.1(1.8)	55.4(52.5)	16.7
青森	25.1(8.0)	1.1(0.5)	51.6(45.3)	13.0
岩手	14.3(6.9)	0.6(0.8)	48.7(45.0)	10.5
宮城	23.8(15.6)	3.0(1.9)	53.7(52.3)	13.2
秋田	20.8(7.9)	0.9(1.0)	51.5(45.3)	12.5
山形	19.2(8.4)	0.7(1.1)	52.7(49.3)	13.5
福島	21.8(13.6)	0.1(2.5)	54.3(45.6)	12.7
茨城	32.8(22.7)	2.7(2.4)	61.1(58.1)	11.3
栃木	35.3(27.7)	1.0(1.4)	58.6(55.9)	10.9
群馬	33.5(26.2)	1.4(2.5)	63.0(59.5)	9.0
埼玉	38.5(27.4)	2.1(1.5)	59.9(56.1)	12.2
千葉	43.6(28.3)	1.6(2.3)	57.8(57.1)	12.6
東京	43.3(38.6)	3.3(3.5)	64.2(59.2)	14.9
神奈川	42.7(34.4)	3.2(3.5)	60.9(58.2)	17.6
新潟	26.1(14.8)	2.0(0.8)	54.2(47.9)	10.6
富山	30.8(19.8)	3.4(0.9)	54.6(51.9)	10.3
石川	31.4(17.5)	2.3(2.3)	60.7(54.0)	15.1
福井	24.4(20.6)	2.2(0.7)	62.0(54.1)	10.8
山梨	40.5(28.5)	3.9(3.0)	68.9(61.4)	13.9
長野	37.4(19.4)	0.6(0.5)	60.8(50.6)	11.4
岐阜	42.1(26.0)	1.0(3.3)	62.2(61.6)	9.9
静岡	40.2(31.1)	1.7(2.5)	64.7(54.7)	6.7
愛知	39.0(31.6)	2.8(3.3)	66.1(62.3)	11.8
三重	50.5(36.7)	3.7(2.3)	61.4(60.7)	10.3
滋賀	35.9(21.9)	2.9(2.4)	59.9(59.9)	8.5
京都	43.2(36.0)	2.8(4.3)	63.4(61.1)	9.5
大阪	42.7(36.4)	2.7(4.1)	60.0(59.7)	9.9
兵庫	42.3(34.4)	2.6(3.9)	60.5(59.6)	10.3
奈良	48.4(36.6)	4.5(6.0)	57.3(64.7)	8.0
和歌山	44.6(29.6)	1.0(2.2)	64.4(53.3)	6.6
鳥取	23.0(16.0)	2.5(1.3)	52.7(47.5)	10.9
島根	18.6(14.0)	1.0(0.4)	52.6(55.5)	10.3
岡山	29.0(22.5)	2.3(4.3)	61.7(58.5)	14.9
広島	37.7(31.2)	2.0(1.4)	60.5(56.3)	10.9
山口	41.7(28.5)	1.3(3.2)	59.9(53.8)	12.0
徳島	57.1(20.8)	2.6(1.5)	62.2(48.2)	6.1
香川	40.7(30.7)	2.6(2.8)	62.3(57.3)	9.2
愛媛	40.2(31.7)	2.6(2.5)	57.7(57.4)	7.6
高知	38.6(27.2)	1.6(1.0)	45.7(42.5)	7.6
福岡	32.2(25.4)	2.8(2.5)	60.6(57.2)	9.5
佐賀	44.0(18.2)	1.8(4.2)	59.8(57.5)	9.2
長崎	29.4(16.1)	0.8(1.3)	63.5(56.7)	10.0
熊本	26.6(19.0)	3.6(2.3)	54.4(46.2)	10.2
大分	25.8(16.7)	1.5(2.3)	57.8(52.0)	4.8
宮崎	26.6(13.7)	-(1.6)	57.3(49.5)	9.3
鹿児島	24.6(17.9)	0.8(1.4)	54.8(43.8)	8.2
沖縄	34.5(23.7)	1.3(1.4)	51.3(37.1)	8.0

注：1. 比率は都道府県別の調査対象児童・生徒についての比率に基づき、都道府県別の児童・生徒総数の比率を推定した結果である。

2. ()は昭和60年度調査結果である。

3. 通信添削については今回初めて調査を実施した。

昭和六十年年度の前回調査と比較するとこの間に児童・生徒数が大幅に減ったわけだが、学習塾が四十八万人増となったのに対して、家庭教師は九万人減、けいこごとは百二十五万人減。

都道府県別にみると、それぞれ開きが生じており、とりわけ学習塾で著しい(表一)。

各都道府県の学習塾通塾率

10%台＝岩手、山形、島根/20%台＝北海道、青森、宮城、秋田、福島、新潟、福井、鳥取、岡山、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島/30%台＝茨城、栃木、群馬、埼玉、富山、石川、長野、愛知、滋賀、広島、高知、福岡、沖縄/40%台＝千葉、東京、神奈川、山梨、岐阜、静岡、京都、大阪、兵庫、奈良、山口、和歌山、香川、愛媛、佐賀/50%台＝三重、徳島

この調査に関して内外情報八月六日付の時評クオターリーの欄で天野都夫(東京大学)氏が「学習の『外部化』進む」と題してコメントを述べている。

「どの府県でもこの七年間で通塾率が上昇しているが、『通塾先進県』東京、大阪など大都市府県で全国平均を下回る一ケタの伸びにとどまるのに対して徳島・佐賀・長野など、これまで低かった地域の上昇ぶりが目立っている…」

〈表2〉学年別にみた通塾率等 単位：％(表3も同じ)

区 分	年 度	計	小 学 校				
			計	1学年	2学年	3学年	4学年
学 習 塾 率	51	20.2	12.0	3.3	4.8	7.5	11.9
	60	26.3	16.5	6.2	10.1	12.9	15.4
	5	36.4	23.6	12.1	14.1	17.5	23.6
家 庭 教 師 利 用 率	60	2.5	1.0	0.2	0.4	0.5	0.8
	5	2.3	0.9	0.2	0.3	0.5	1.4
けいごごと 実 施 率	60	55.5	70.7	60.1	69.1	76.8	78.0
	5	59.6	76.9	70.1	79.4	81.2	82.5
通 信 添 削 利 用 率	5	11.7	11.7	10.1	12.6	11.2	12.3
区 分	年 度	小 学 校		中 学 校			
		5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年
学 習 塾 率	51	19.4	26.6	38.0	37.9	38.7	37.4
	60	21.1	29.6	44.5	41.8	44.5	47.3
	5	31.1	41.7	59.5	52.5	59.1	67.1
家 庭 教 師 利 用 率	60	1.6	2.1	5.4	3.4	5.6	7.3
	5	1.2	1.8	4.8	3.2	4.7	6.6
けいごごと 実 施 率	60	73.9	65.7	27.4	35.7	26.4	19.6
	5	77.5	70.6	28.3	36.7	29.3	18.8
通 信 添 削 利 用 率	5	12.5	11.4	11.8	12.2	12.0	11.2

注：1. 「通塾率」とは、児童・生徒総数のうち、調査年度の10月中（昭和51.60年度は6月中）に「学習塾」へ通った児童・生徒数の占める比率（推定）である。
 2. 比率は、調査対象児童・生徒についての比率に基づき、児童・生徒総数についての比率を推定した結果である。

学習通塾率は学年が進むにつれて上昇、
 …小学校では最低の一年生も二・一％と
 五・九ポイントもアップ、一割を超え低年
 齢化の進行を示した。四年生は一割から二
 割台に、五年生は一割から三割台に、最高
 学年六年生は四一・七％と二一・一ポイン

ト上がって二割台から四割台にのった。
 小学生全体は二三・六％（七・一ポイン
 ト上昇）。
 中学生の一年生は四割台から五割台にの
 り、二年生は四割台から五割台にのり、三
 年生は六七・一％、四割台から一挙に七割
 に近付いている。

〈表3〉学習塾で受けている学習指導の内容、教科の種類別の構成 (複数回答)

区 分	年 度	計	小学生	中学生	区 分	年 度	小学生	中学生		
									指 導 内 容	学校の宿題や予習・復習の指導
5	45.6	40.3	48.9	5	81.1	89.2				
進学準備が中心の指導	60	29.3	18.8	36.6	国 語	60	41.9	30.6		
	5	39.1	25.6	48.9		5	67.4	49.1		
勉強の遅れを取り戻す指導	60	15.2	14.0	16.0	英 語	60	27.3	92.9		
	5	14.1	12.9	14.9		5	37.8	95.9		
その他	60	26.6	44.3	14.5	理 科	60	15.4	24.4		
	5	17.6	33.0	6.4		5	17.1	38.7		
	60				社 会	60	13.7	20.5		
	5					5	16.2	35.4		

注：通塾者数を100とした「学習指導の内容別」「教科の種類別」の割合(推定)である。

〈表4〉学習塾に望むことの構成比（通塾させた経験別・学年段階別）

区 分	計	通塾させた経験		小 学 校			中学校
		ある	ない	計	低学年	高学年	
子供一人ひとりの能力に合わせて丁寧に指導してくれること	75.7	74.5	76.7	77.8	79.2	76.5	72.0
勉強に興味関心を持つよう指導してくれること	59.8	57.3	61.7	62.8	64.4	61.3	54.4
学習塾が家に近く、行き帰りの途中での事故の心配がないこと	35.5	32.1	38.0	38.0	38.1	37.8	30.9
学習塾の経費が家計を圧迫しないこと	28.5	27.3	29.4	29.3	29.5	29.1	27.1
学校の指導とあまりに異なる指導をしないこと	25.3	21.8	27.9	26.1	27.3	25.1	23.7
授業の時間が深夜や長時間に及ばないこと	20.3	15.3	24.1	21.6	22.0	21.3	18.0
進路選択や受験に必要な情報を提供してくれること	17.4	23.4	13.0	12.6	9.8	15.2	26.2
家庭との連絡・相談をしっかりと行うこと	16.9	19.1	15.3	18.0	19.6	16.5	14.9
指導が受験勉強に偏りすぎていないこと	10.0	8.2	11.3	10.2	10.2	10.2	9.6
子供を進ませたい学校への合格実績が高いこと	5.3	7.0	4.1	4.1	3.3	4.9	7.5
授業日が頻繁すぎないこと	4.7	3.6	5.4	5.3	5.4	5.1	3.5
誇大広告や契約上のトラブル等の問題を起こしていないこと	4.6	4.1	5.0	4.7	5.0	4.4	4.4
特にない	2.6	1.8	3.2	2.4	2.5	2.3	2.8
その他	1.0	0.6	1.3	1.1	1.1	1.1	0.9

注：複数回答（1項目以上4項目まで）のため、比率の合計は100%を超える。

〈表5〉学習塾に通わせる理由別回答世帯数の構成

単位：人、%

区 分	年度	計	区 分	年度	計
子供が希望するから	60 5	52.3 46.0	学校の授業だけでは勉強に興味を示さないから	60 5	— 12.7
家庭で勉強をみてやれないから	60 5	29.1 33.3	学校の授業ではもの足りないから	60 5	— 11.1
一人では勉強しないから	60 5	38.0 32.4	同級生の親または近所の人に勧められたから	60 5	— 5.3
学校の授業だけでは受験勉強が十分できないから	60 5	27.2 26.0	家庭教師より経費が少なくてすむから	60 5	8.6 4.3
塾では一人ひとり丁寧に教えてくれるから	60 5	23.4 20.4	特にない	60 5	1.6 0.7
進路選択や受験に必要な情報を得たいから	60 5	— 18.9	学校の先生に勧められたから	60 5	0.4 0.2
学校の授業についていけないから	60 5	15.9 17.9	その他	60 5	8.5 8.5

〈表6〉学習塾通い状況についての意識

（通塾させた経験別・学年段階別の親、塾経営者）

区 分	親							塾経営者
	計	通塾させた経験		小 学 校			中学校	
		ある	ない	計	低学年	高学年		
過熱していると思う	60.6	54.7	65.0	62.5	64.0	61.2	57.2	34.8
特に問題はないと思う	10.8	15.8	7.1	9.0	7.6	10.4	14.1	34.9
どちらともいえないと思う	22.4	26.0	19.8	21.6	20.9	22.3	23.8	26.7
分からない	6.1	3.6	8.1	6.8	7.5	6.1	4.9	3.6